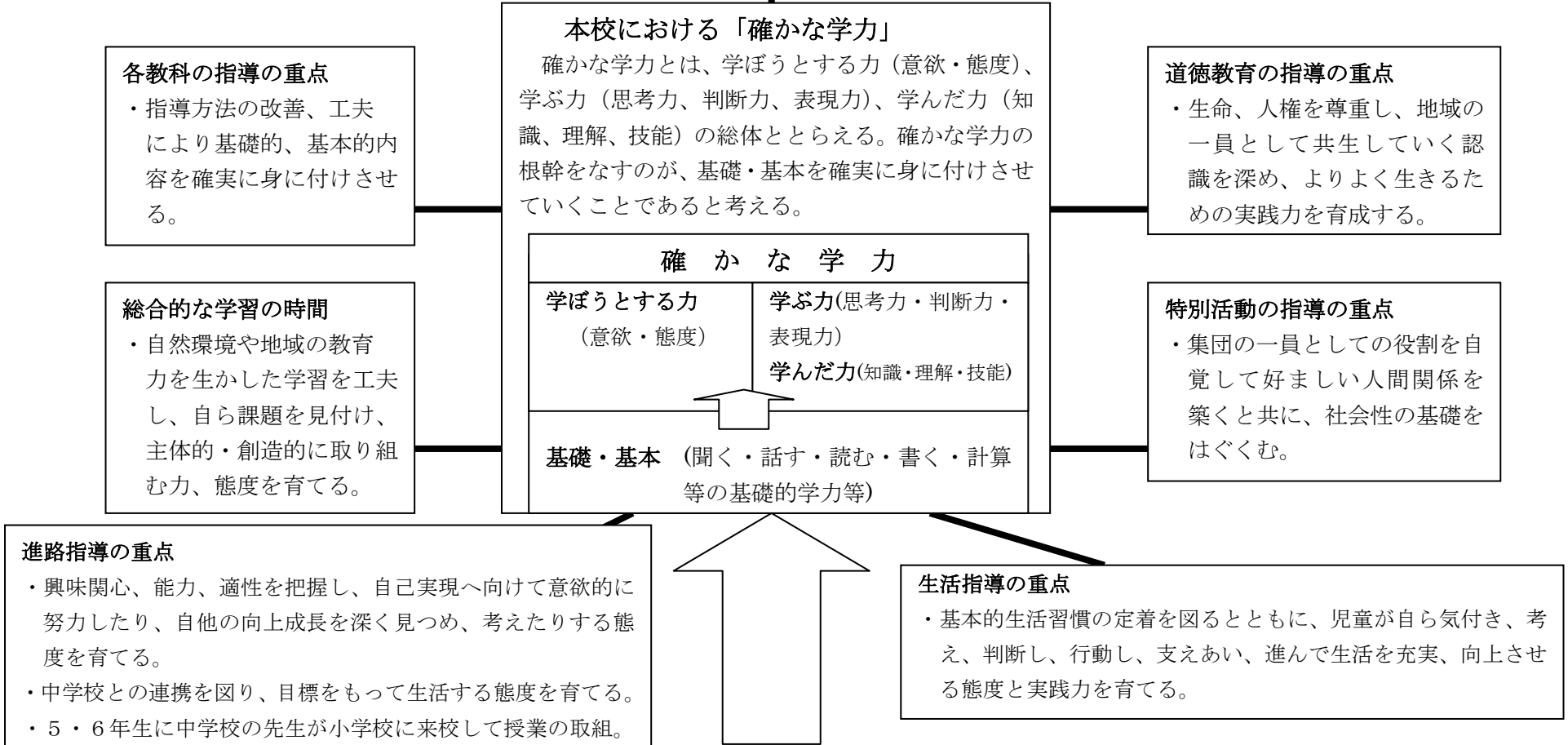
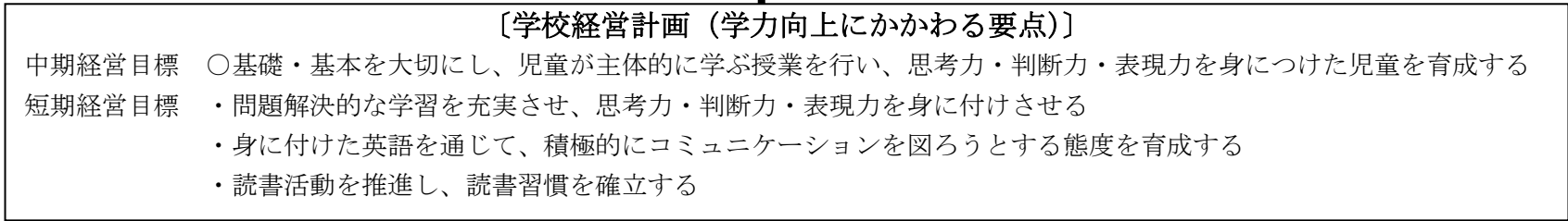
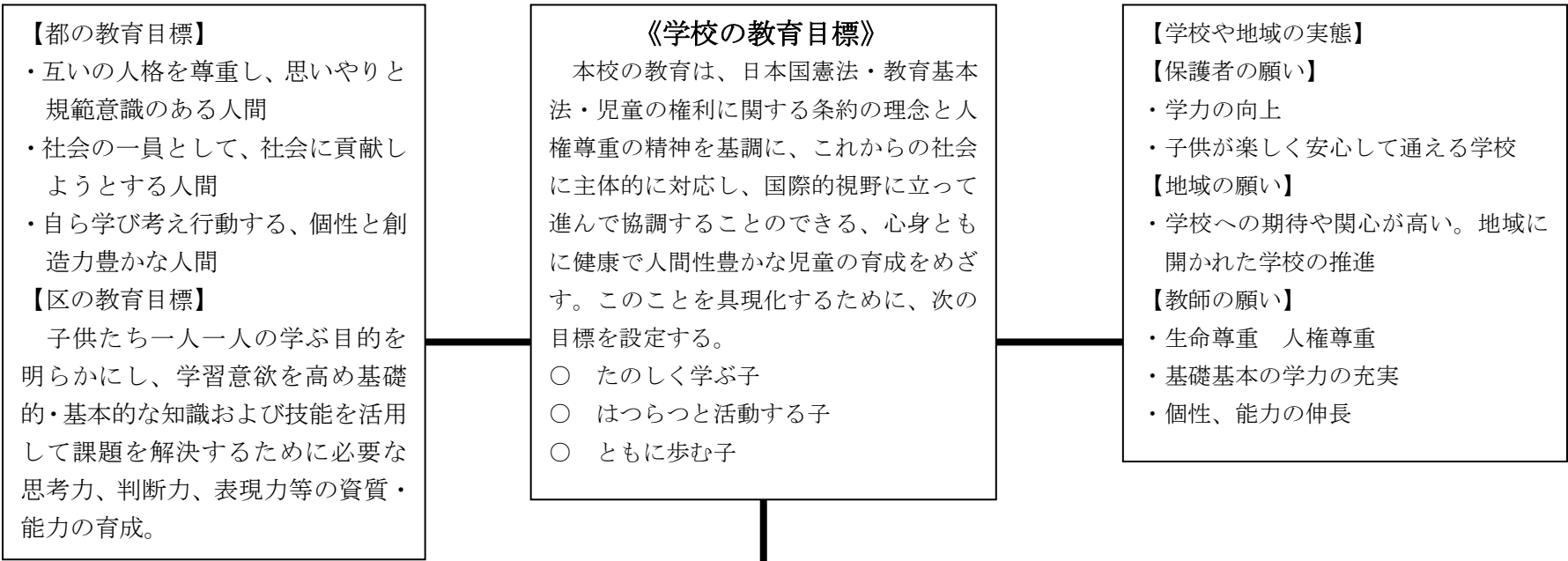


平成27年度 学力向上を図るための全体計画



本校の改善策

指導内容・指導方法の工夫	教育課程上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> 問題解決学習、体験活動を取り入れた学習の重視。 課題解決、習熟度別学習を取り入れたティームティーチング、少人数指導の推進。 自力解決学習と学習感想の重視。 読書活動の推進。 東京ミニマムの活用。 校区別協議会で出された話題を授業改善に活かす。 東京ベーシックドリルの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内にある自然を活用した体験学習を年間計画に位置付ける。 朝読書、保護者・教員による読み聞かせ、ストーリーテリングの多様な実践を実施する。 全学年、外国語（英語）活動を実施。 中学校の部活動見学 校内での挨拶運動および、中学校との挨拶運動。 月1回のいじめアンケート。 	<ul style="list-style-type: none"> 年7回の授業研究を通しての授業力の向上。 キャリアプラン等に基づく自主的・自発的研修の活性化。 教材研究の重視。 長期休業中に4回の職員研修の実施。 中学校と互いに研究授業の参観を行う。 副校長による教職員全体の服務研修。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人のよさを見付け、よさを伸ばすことで他の力を伸ばす評価計画、評価規準、評価基準の作成等による指導と評価の一体化。 自己評価、相互評価の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立（朝食・睡眠等）。 「早寝・早起き・朝ごはん」の運動の推進。 朝の保護者による本の読み聞かせ。 家庭学習や宿題等の工夫。 地域の教育力の活用。

平成27年度 校内研究 研究主題「積極的にコミュニケーションを楽しむ児童の育成」

- 低学年…楽しく聞いたり話したりすることができる児童
- 中学年…やりとりの中で聞いたり、話したりすることを積極的に行うことができる児童
- 高学年…知的好奇心を持ち、伝えたいことを積極的に表現しようとする児童
- わくわく…友達とすすんで表現しようとする児童